



重要文化財 《豊公吉野花見図屏風》(左隻・部分)
桃山時代 細見美術館蔵



2025年
5/24 | 土 |
8/3 | 日 |

*一部展示替えあり

開館時間 午前10時～午後5時
休館日 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)

入館料 一般1,800円 学生1,300円

主催 細見美術館 京都新聞

会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 TEL 075-752-5555

<http://www.emuseum.or.jp>

○会期・営業日時等を変更する場合があります。詳しくはWEBサイトをご覧ください。

HOSOMI MUSEUM

広がる 屏風、 語る絵巻



住吉如慶 《桐ざりず絵巻》(上巻・部分) 江戸前期 細見美術館蔵

Byōbu and Emaki
Expansive Large Screens and
Illustrated Narrative Handscrolls

広がる屏風、 語る絵巻

「屏風」は風よけや間仕切りとして使用された実用性の高い調度。空間を彩る美術品として多くの絵師たちによって絵が描かれ、さまざまな画題や様式による屏風絵が展開しました。人の背丈ほどの屏風では、大きな画面に広がる絵画世界と一体となった感覚を味わえます。

「絵巻」は、巻物（巻子）形式の絵画で、鑑賞者が自ら開き、巻き進めながら見るもの。コマ割りされた絵を連続させることで空間の移動や時間の推移を表現できることから、物語性のある主題が多く描かれました。後世に切断され、掛軸となった「断簡」も数寄者たちに賞玩されてきました。

本展では、細見コレクションを中心に、空間に広げて鑑賞した屏風と、手許で展開して楽しんだ絵巻を紹介し、豊臣秀吉の花見行列を描いた《豊公吉野花見図屏風》のほか、室町幕府第11代將軍足利義澄が愛蔵していた《硯破草紙絵巻》など、異なる形式の絵画の特質に触れるとともに、個々の作品の魅力を堪能してください。

※図版はすべて細見美術館蔵

2025年
5/24 ±
— **8/3** 日



《撫子図屏風》 江戸前期



《紙園祭礼図屏風》(右隻) 江戸前期



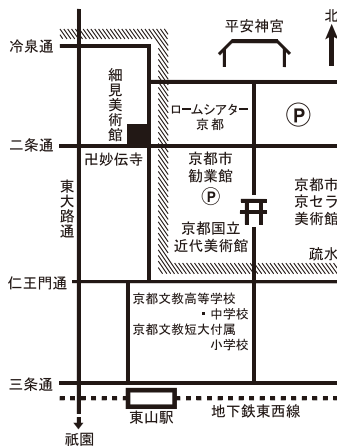
岩佐又兵衛 《源氏物語図屏風「総角」》 江戸前期



《硯破草紙絵巻》(部分) 明応4年(1495)



《藤の衣物語絵巻》(部分) 室町前期



アクセス

- 市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分。
- 市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分。
- 地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分。

細見美術館 〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3
TEL 075-752-5555 <http://www.emuseum.or.jp>
ご来館には公共交通機関をご利用ください。



入会日より1年間、何度でも展覧会をご覧ください。

細見美術館 友の会「古今」メンバー募集中!

フレンドシップメンバー [年会費] 4,000円(税込)

※本展以降は、年会費を5,000円に改訂いたします。

これからの展覧会

寄贈記念 澤乃井櫛かんざしコレクション
2025年9月6日(土)～10月13日(月・祝)

細見美術館

会期中のイベント

事前申込制・詳細はWEBサイトをご覧ください。

●古香庵サロン【全6回】

もっと琳派を愉しむー知れば知るほど奥深いー

【第1回】本阿弥光甫 5月27日(火)

【第2回】深江芦舟 7月10日(木)

講師・福井麻純(当館主任学芸員)

参加費…各回4,500円

(展示観覧・呈茶付き/友の会優待あり)

●古香庵サロン Active+【全2回】

葛重時代の江戸文化

【第1弾】抱一の浮世絵と葛重 6月28日(土)

講師・岡野智子(当館上席研究員)

参加費…各回5,000円

(展示観覧・呈茶付き/友の会優待あり)



《紙園祭礼図屏風》(右隻・部分) 江戸前期